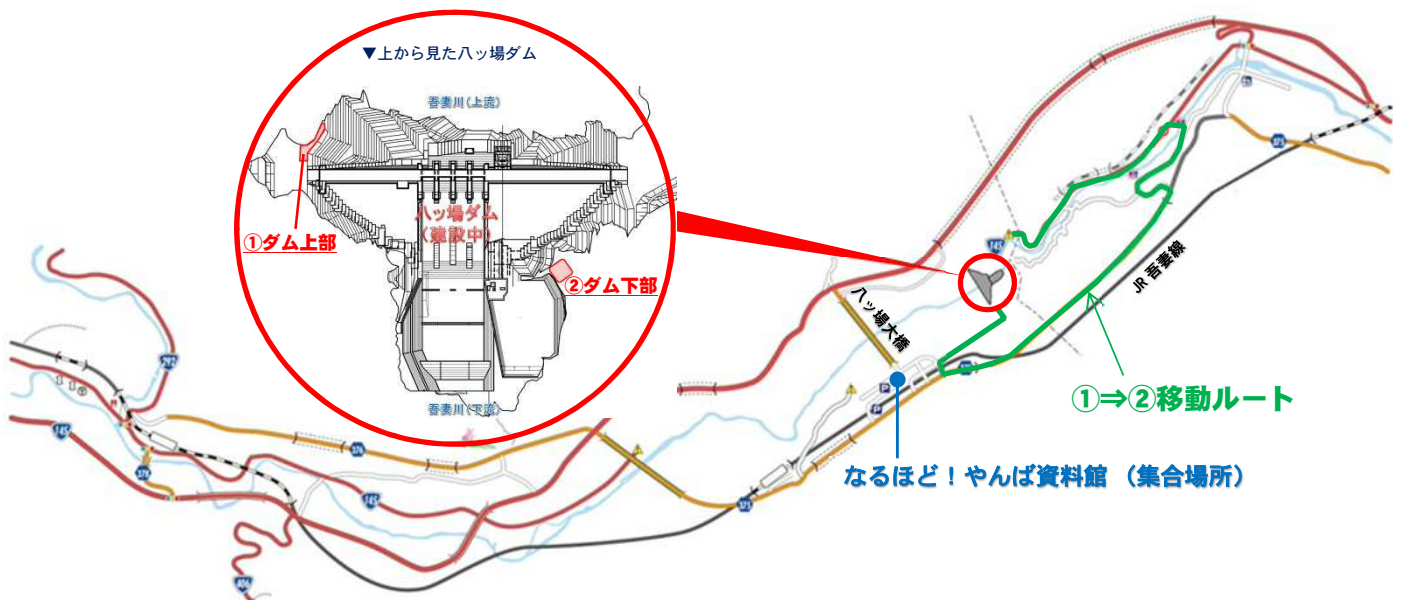


# ダム上部（右岸天端）～旧熊の茶屋 バス移動車内用 バスガイド用シナリオ原稿（案） 【ver. 1.0】

ボリューム：約10分程度

- ・本資料は【見学①】ダム上部(右岸天端)から【見学②】ダム下部への移動中に、バス車内でトンネル、道路、吾妻溪谷、周辺施設などを説明したシナリオです。



- ・バスでの移動中は交通状況などに十分留意して下さい。
- ・最新のシナリオはハッ場ダム工事事務所ホームページ(右下 QR コード)に掲載しておりますので、出発前にご確認下さい。



## ダム上部（右岸天端） バス乗車

## ゲート通過時

## 街並み



## 県道



## 吾妻峡トンネル



## 道の駅あがつま峡

それでは、次にダム下流の工事現場見学場所に向います。

今通っている工事用道路ですが、将来的には舗装されまして、吾妻峡を歩いてきた方が、ダム天端まで上がり、川原湯温泉方面へと続く道となる予定です。

こちらで一度バスがとまりますので、ヘルメットをとっていただいて結構です。この後また、工事現場に入りますので、ヘルメットはそのままお持ち下さい。

現在、川原湯地区にお住まいの方は56世帯です。駐在所や郵便局も移転してきております。

こちらから県道に入り、ダムの下流側へと向かいます。県道の林岩下線は、平成24年5月に全線開通しました。

道の駅八ッ場ふるさと館のある林地区から不動大橋を経てJR岩島駅前までを繋いでおります。

こちらのトンネルは吾妻峡トンネルです。吾妻峡と平行してできたトンネルであることから、「吾妻峡トンネル」と命名されました。延長が1769mあり、八ッ場ダム関連で完成した道路トンネルの中では一番長いトンネルです。

また、このトンネルの近くには、新しく付け替えられたJR吾妻線のトンネルが通っています。

このトンネル内で、長野原町から東吾妻町に入ります。東吾妻町は、平成18年に吾妻町と東村（あずまむら）が合併して、東吾妻町となりました。



この県道を進みますと、「道の駅あがつま峡」があります。平成26年に道の駅に登録されました。道の駅には、農産物直売所、子供広場やドッグラン、日帰り温泉浴場の天狗の湯などがあります。

露天風呂には、茂四郎トンネルの貫通石が置かれ、難関突破や合格祈願、安産の湯と言われています。また、東吾妻町内には、昨年大河ドラマ 真田丸のオープニング映像で使われ、真田家の岩櫃城があった「岩櫃山（いわびつやま）」があります。また、全国での有数のラップスイセンの産地で、春には「スイセンまつり」も開かれています。

### 十二沢パーキング



左手に見えるこちらの駐車場は十二沢パーキングです。遊歩道があり、上流に45分ほど歩くと、小蓬菜と呼ばれる見晴台までいくことができます。小蓬菜からは八ッ場ダム工事現場が一望できます。

### 吾妻峡橋



こちらの橋を渡り、左に曲がって行きます。吾妻溪谷沿いを上流、八ッ場ダムの建設現場へ向かいます。一般車両は進入禁止となっております。

それではこちらでヘルメットをかぶって下さい。

### 猿橋



左手に見えてきた橋は猿橋といえます。ダム建設地の1.2km下流になります。平成29年3月27日に開通式が行われました。江戸から大正時代に実在した木の橋と同じ名前をつけ、レトロ風にしています。

### 樽沢トンネル



平成26年9月まで右手側には、JR吾妻線がはしっていました。

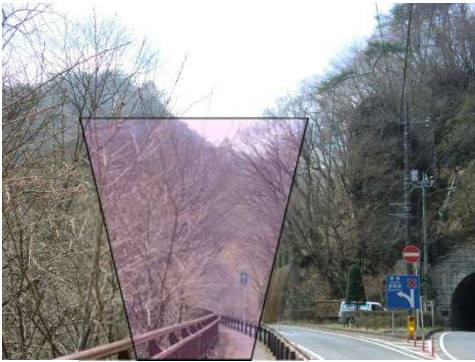
正面上の方に小さなトンネルが見えています。

あちらは「樽沢トンネル」と言いまして、長さは7.2mしかなく、鉄道トンネルの中で日本一短いトンネルでした。水没はしませんが、JR吾妻線が新線に切り換えられ、役目を終えました。

### 鹿飛橋



左手、吾妻溪谷の中央部であるこの付近は八丁暗がりといい、溪谷の中でも最も川幅がせばまったところです。左下辺りには鹿飛橋という橋があります。鹿が飛び越えて渡れるぐらい川幅が狭いということから鹿飛橋という名がつけました。吾妻溪谷の撮影ポイントのひとつです。



当初計画されたハッ場ダム建設地点はこのあたりとなります。当初はここから上流がダム湖に沈む計画でしたが、ダム建設地点を今の場所に変更したことにより、吾妻峡の3/4は残ります。

### 旧熊の茶屋

こちらでバスから降りて頂きまして、見学場所まで10分ほど徒歩での移動となります。途中、段差や階段などありますので足元お気をつけて移動をお願いします。